

「主に贖われた者たちは帰って来る。」

イザヤ書 35 章 10 節

イザヤは国が滅ぼされ「捕らわれ人」と「なつても、そこにも希望の光がある、と語っています。それは、荒野と砂漠に「花を咲かせ」と、イスラエルの回復を予言しています。」

す。私たちが神の励ましの言葉を受け留めるのに必要なのは「信仰」です。信仰が働かなければ、神の励ましも受け入れられませぬ。神は信仰を持つ人を導き、励ましを与えてくださるのです。

イザヤは、神の励ましの約束を語ります。この神のみ言葉は、あらゆる時代に生きる人々に励ましを与えるものです。ヘブル書の記者は「弱った手と衰えた膝をまっすぐにしなさい」と語っています。私たちも力が失い、立ち上がれないほどの経験をするこ

イスラエルの回復、それは誰の目にも分かる、明らかな変化を示すものです。その日には、歩けなかった人が鹿のように躍り上がり、ジャッカルが伏したところは葦やパピルスの茂みとなるのです。イスラエルは回復する、これが聖書の約束です。預言の成就是聖書の信憑性にかかっています。神は、

私たちの心の目を開くために、預言とその成就を通して語りかけておられます。それは神の真実を示すためです。

また、神はイスラエルを贖われるお方で「贖う」という言葉は『代価を払い買い戻す』ことで、10 節では『負債を負う奴隷を解放する』という意味があります。神はひとり子イエスをこの地に送られました。それは、まさしく「贖い」を成就するために、神ご自身が失われた生命を血で買い戻してくださいましたのです。イエス・キリストの贖いのみわざは、天の御国に入る「聖なる道」です。そこには喜びがあふれています。それは、贖われた者に神が備えていてくださるものなのです。

■ 礼拝式に出席される方は事前のお申し込みをお願い致します。

・ 申込期限 毎週金曜日

・ 方 法 電話・FAX・メール

電話は朝10時～夕5時

■ 11 / 29 礼拝出席者数報告

(重複出席者数は除いています)

第1礼拝 22名

第2礼拝 38名

小学科礼拝 小5名 中高1名

【報告 消息】

・ 本日の礼拝飾花は、田崎雅晴兄の召天

(2017年12月12日)を記念して、

田崎満枝姉よりささげられました。

感謝します。

・ お体を弱めている方、ご高齢者のために祈りましょう。入院、検査などの情報を牧師宛にいただきます。

【本日の配布物】

・ クリスマス チラシ

・ クリスマス献金 趣意書

・ 趣意書をご覧いただきお献げください。

コロナ禍にある宣教団体、働き人にお送りしたいと願っています。

■ アンケートのお願い

「2020年を省みて コロナ禍の中で」皆様にご協力いただいて記録として残したいと考えています。すでに配布した用紙をご覧ください。よろしくお願い致します。

締切期限 12月20日(日)

ご不明な点は、菊地管理部長、石田牧師、荻野牧師、役員まで。

■ 下半期感謝献金(教団扱い)

26名 123,000円

(11 / 26 現在)

趣意書をご覧ください。教団の働きを覚えて、ご協力願います。